

令和2年度 クリーニング師試験 筆記試験問題

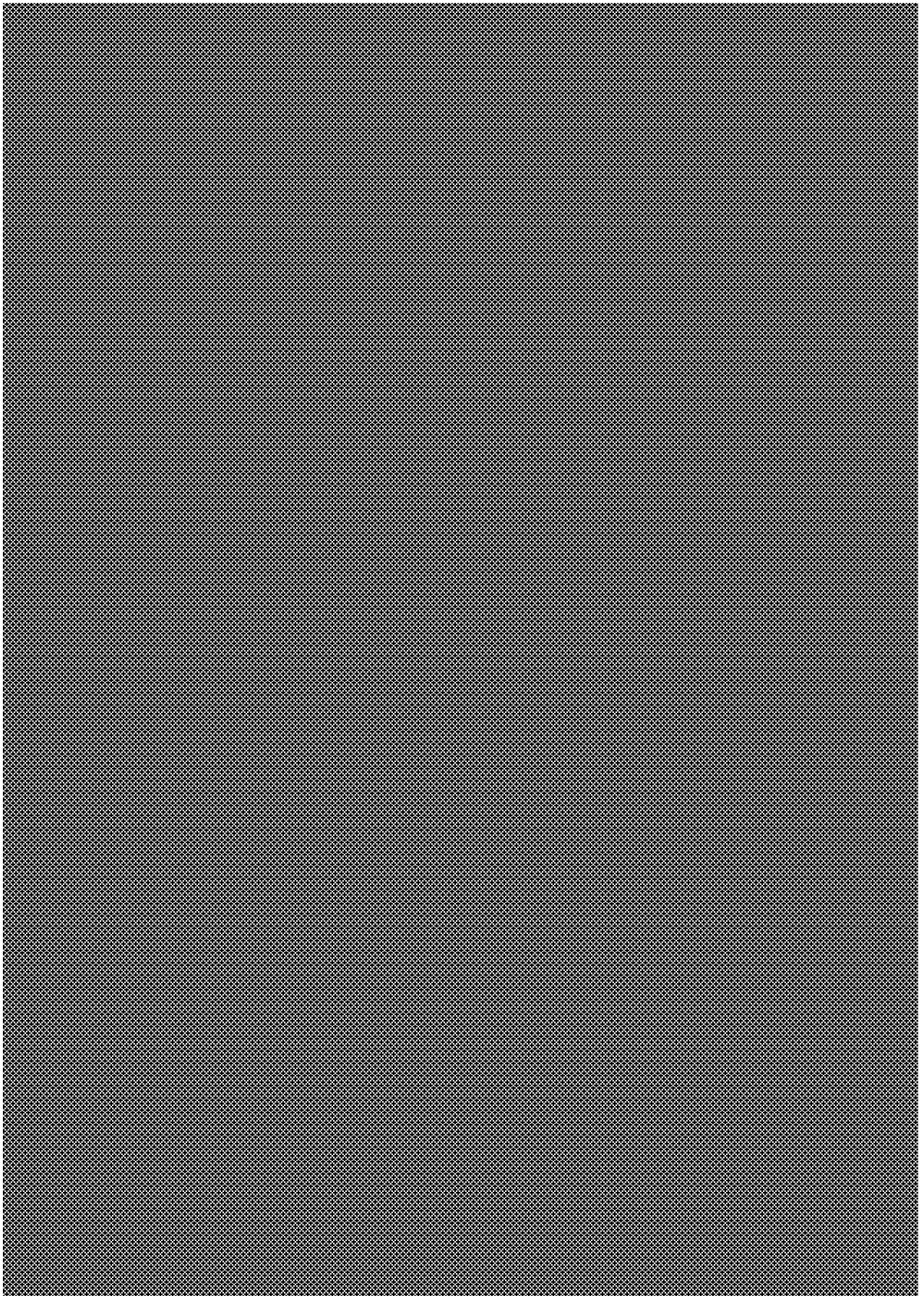
試験日	令和2年11月5日(木)
試験時間	午前10時00分～10時45分

【受験上の注意事項】

- 1 問題用紙と解答用紙は別々です。解答は必ず解答用紙に記入してください。
- 2 解答用紙に、受験番号と氏名を記入してください。受験番号が記入されていない場合は、解答が無効となります。
- 3 問題は、衛生法規に関する知識：5問、公衆衛生に関する知識：5問、洗濯物の処理に関する知識：5問で全15問です。
- 4 試験時間中に発言をしてはいけません。用事があるときには黙って手をあげてください。なお、問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- 5 試験時間は45分間です。試験開始後20分が経過したら退室できますが、退室した後は、再入室することはできません。
- 6 試験問題は持ち帰ることができます。

指示があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。

山 梨 県



衛生法規に関する知識

【問題 1】

クリーニング業法に規定する営業者の衛生措置についての記述として、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙へ記入しなさい。

- 1 クリーニング所及び業務用の車両並びに業務用の機械及び器具を清潔に保つこと。
- 2 洗場については、不浸透性材料(コンクリート、タイル等汚水が浸透しないものをいう。)を用いて、できるだけ水平に築造すること。
- 3 営業者は、洗濯物を洗濯するクリーニング所に、業務用の機械として、洗濯機及びスチームアイロンをそれぞれ少なくとも一台備えなければならない。

【問題 2】

クリーニング業法に規定する営業者が利用者に対して説明義務等についての記述として、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙へ記入しなさい。

- 1 営業者は、洗濯した洗濯物を引き渡そうとするときに、利用者に対し、洗濯物の処理方法等について説明するよう努めなければならない。
- 2 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをする際に、厚生労働省令で定めるところにより、利用者に対し、苦情の申出先を明示しなければならない。
- 3 クリーニング所においては、苦情の申出先となるクリーニング所の名称、営業者の氏名及び電話番号を店頭に掲示しておかなければならない。

【問題 3】

クリーニングの営業を開始しようとする時に必要な次の記述として、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙へ記入しなさい。

- 1 クリーニング所を開設しようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、クリーニング所の名称、構造設備及び従事者数並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。
- 2 営業者は、そのクリーニング所の構造設備について、あらかじめ都道府県知事の検査を受けた後であれば、当該クリーニング所を使用することができる。
- 3 クリーニング所を開設しないで洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業しようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、営業方法、従事者数その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。

【問題 4】

クリーニング業法に規定する伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがあるとして、厚生労働省令で定める洗濯物（営業者に引き渡される前に消毒されていないものに限る）ででないものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙へ記入しなさい。

- 1 旅館において使用されたパンツ
- 2 旅館において使用された寝具
- 3 旅館において使用されたタオル

【問題5】

次のクリーニング業法に規定するクリーニング師の免許に関する記述について、()の中に入る語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙へ記入しなさい。

クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、その旨を書き、破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、(ア)以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。

免許証の再交付を申請した後、失った免許証を発見したときは、(イ)以内に免許を与えた都道府県知事に提出しなければならない。

また、本籍又は氏名を変更したときは、(ウ)以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	1月	10日	15日
2	15日	10日	10日
3	1月	5日	10日

公衆衛生に関する知識

【問題 6】

次のWHO（世界保健機関）憲章の記述として、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全によい状態であることであり、単に疾病又は虚弱でないということではない。
- 2 公衆衛生とは、共同社会の組織的な努力を通じて、肉体的、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、技術である。
- 3 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

【問題 7】

次のクリーニング業がかかわる感染症に関する記述について、（ ）内に入る語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

クリーニング業の施設がかかわる感染症としては、病院リネンを介した（ア）の集団感染がある。（ア）は一般的には毒性が弱いために除菌する必要がないものの、（ア）が形成する芽胞菌は熱や（イ）には抵抗性であるため、極端に抵抗力の弱い患者が使用する病院リネンにおいては特殊な処置により滅菌する必要がある。

- | | |
|------------|------------|
| （ア） | （イ） |
| 1 インフルエンザ | 次亜塩素酸ナトリウム |
| 2 セレウス菌 | アルコール |
| 3 腸管出血性大腸菌 | 次亜塩素酸ナトリウム |

【問題 8】

次のノロウイルスに係る吐ぶつやふん便が布団などのリネン類に付着した場合の処理に関する記述として、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 リネン等は、付着した汚物中のウイルスが飛び散らないようにペーパータオルなどでできるだけ吐ぶつを取り除き、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いする。
- 2 下洗いしたリネン類の消毒は、85℃、1 分間以上又は 80℃、10 分間の熱水洗濯が適している。
- 3 下洗いしたリネン類の消毒に、熱水洗濯が行える洗濯機がない場合には、アルコールによる消毒が有効である。

【問題 9】

皮膚疾患に関する組み合わせとして、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 とうぶはくせん 頭部白癬 (シラクモ) — ウイルスによるもの
- 2 かいせん 疥癬 — ダニによるもの
- 3 たんじゅんせいほうしん 単純性疱疹、たいじょうほうしん 帯状疱疹 — 真菌によるもの

【問題10】

クリーニング所における衛生管理要領に規定されている指定洗濯物の消毒方法についての記述として、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 塩素剤による消毒では、さらし粉などを使用し、その遊離塩素 250 ppm 以上の水溶液中に 30℃以上で5分間以上浸す。
- 2 界面活性剤による消毒では、逆性石けん液など殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に 30℃以上で30分以上浸す。
- 3 蒸気による消毒では、蒸気がま等を使用し、80℃以上の湿熱に5分以上10分以内で触れさせる。

洗濯物の処理に関する知識

【問題 1 1】

次のシミ抜き処理の進め方に関する記述について、()の中に入る語句の組み合わせとして、最も適したものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

シミ抜きは、①(ア)、②(イ)、③(ウ)、④酸化漂白処理、⑤還元漂白処理の順に処理を進め、処理の効果が認められるものについては、その処理を徹底して行うようにする。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	水溶性処理	酵素処理	油性処理
2	油性処理	酵素処理	水溶性処理
3	油性処理	水溶性処理	酵素処理

【問題 1 2】

ランドリーにおける洗濯処理についての記述として、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 「本洗い」で添加するアルカリ剤(メタ珪酸ナトリウム)は、pHを7~8に保つことで洗剤の洗浄を助ける。
- 2 「すすぎ」は、水量を多めにし、すすぎ温度は初回は洗濯温度と同じ、2回目以降は常温でよい。
- 3 「糊付け」は、布に白さ、光沢、ハリを与える。また、繊維に汚れが直接付かないようにし、付着した汚れが容易に取れるようにする効果もある。

【問題 1 3】

ドライクリーニングに用いられる石油系溶剤に関する記述として、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 引火性で、消防法や建築基準法の規制を受ける。
- 2 テトラクロロエチレン（パーク）に比べ揮発しやすいので、低温で短時間に乾燥ができ、生産性が高い。
- 3 油脂溶解力が小さく、比重が軽いので、ソフト洗いに適している。

【問題 1 4】

ランドリー用助剤で、漂白剤として使用する、過炭酸ナトリウムに関する説明として、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 低温で漂白効果がある。反面高温では急激な分解が起こり、生地を損傷する。
- 2 含金染料染色物では、金属と反応して生地を損傷するから使用不可である。
- 3 還元漂白剤である。

【問題15】

各繊維素材のアイロンによる標準的な仕上げ条件に関する記述として、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 綿や麻の標準的な仕上げ温度は、180～200℃である。
- 2 ポリエステルやナイロンの標準的な仕上げ温度は、120～130℃である。
- 3 ポリウレタンやアクリルは、絶対にアイロンがけしてはいけない。